

明治六年

東京居留葡國領事ロドリゴ氏居留地外小山天曉院  
住居ノ件

外務省

辦事局

新事務

考法

辦事局

葡國政府より口々口口使館に二月申書  
 居留地内における難境を海外難境と看  
 同視一時立退くべき旨を日葡二十日ラ陽  
 居留地外に移住を許す小山天曉院  
 本館信文に在りて是の後一年一回不  
 借更度在中に被るる外に若くは在  
 不都合に在りしは中へ果て居留地内  
 引移す程再々中を以て移すに及ぶ中  
 進んで遷延および官程又別紙第一号  
 十月 四十四号

東京府

之通に概令の變為二号の通に接接  
 有る者も諸君使察未だ備入或は  
 公使館附士官におき比列に難境成只今  
 之不之不不察理与存の得るに及ぶ者  
 および此許可を以て之を以て對し  
 未解之被中少小何程に由り續て  
 許す可きものありしは其れを未だ之知  
 不致すは其の普通に之を他は是れ等  
 令に付し者おいて之等と法務省者  
 居留地内に移住す程に計りし



存小依之葡國使多書翰官本係  
中依中を以

明治十年十月三日

外務部副官種田

東京府知事大谷



東京府

別紙

第一号

寫

以書狀被略其の然乎年居留地外  
 以住居之候を能く爲す事候所  
 今之居留地内は移轉有之候所  
 本年十月中旬迄移轉去六月廿日附  
 番細申付申付申付申付申付申付  
 依然同外に住居之候他に外國人  
 是等不都合を極め申付申付申付  
 内は引移候所候に申付申付申付  
 引移候所候に申付申付申付申付

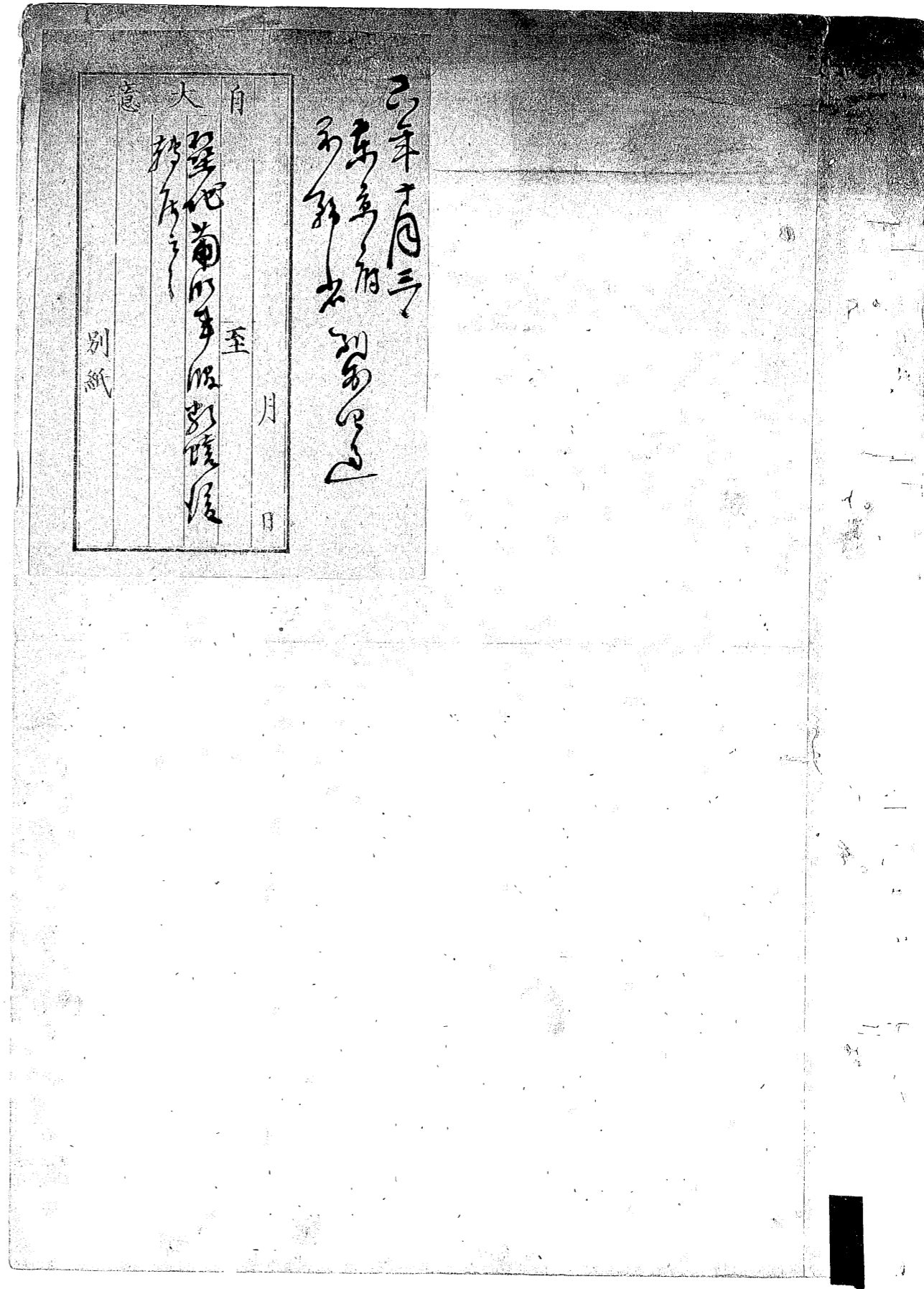
東京府

明治九年九月二日 東京府知事大久保玄相

葡國使節

正下口口口口口口口口





自  
 至  
 月  
 日  
 大  
 意  
 移  
 送  
 南  
 西  
 門  
 外  
 野  
 田  
 屋  
 別  
 紙

己未年十月三日  
 東  
 野  
 田  
 屋  
 野  
 田  
 屋  
 野  
 田  
 屋

(Copy)

(Translation)

Tokio 3<sup>rd</sup> day 9<sup>th</sup> month  
8<sup>th</sup> year of Meiji

Sir

Having none of your favours to reply to my letters of the eleventh month of last year, and the 20<sup>th</sup> of June last, relative to a request that you will remove into the settlement, as a residence at outside of the said place is an opposition of Regulation, I now beg you will remove into the said settlement as soon as possible, because such opposition as above mentioned would have a much influence to the others in any position and if you have any further delay to remove, I shall be obliged to inform it to the department of foreign affairs, and it would be injuries to the reputation of your duty.

With respect and consideration  
Okubo Ichio  
Tokio Chiiji

C. Loureiro Esq<sup>re</sup>  
Portuguese Consul.

office should be of your opinion  
with respect and consideration  
C. Laureiro

To  
Okubo Ichiro Esq.  
Tokyo Chiji

(Copy)

Consulate of Portugal  
Yedo 15<sup>th</sup> September 1873

Sir

In reply to a letter bearing your name dated 3<sup>rd</sup> inst, requesting me to ~~move~~<sup>move</sup> from my present residence to the Foreign settlement at Skidji, I beg to say that I cannot see what can be the object of the Tokaipu in making such a request, unless it is to give me trouble and annoyance.

In accordance with my Treaty I have every right to remain where I am, as long as any foreigner is permitted to live out of the Foreign settlement.

When the Tokaipu inform me that every foreigner, in the Foreign, or Japanese Government employ are living at Skidji, I would then do the same, but not before.

Perhaps you are not aware that long before the opening of Yedo, I had a residence granted me by the Foreign office out of Skidji.

With regard to the last paragraph in the letter from the Tokaipu, that unless I move at once into Skidji, you will bring the matter before the Foreign office, and it will be injurious to my duty, I cannot see the injury that can come from it, and on the contrary would only be too glad if you will refer the matter to that department, as I would then be able to discuss the question, if the Foreign office.

別紙

第二号

寫濟

本月二日附之筆翰被披及下於  
 抄者現今居住之地、築地居留地  
 内、移轉之被之旨、通知は、以、在  
 振、成、東、京、府、下、中、初、う、者、に、理  
 要、了、解、難、被、り、以、生、小、院、他、外  
 五人、居留地、外、に、居留、を、以、許、し、令、  
 有、之、右、之、者、に、信、居、之、地、を、以、官、を、抄、者  
 お、い、て、も、回、極、信、居、之、成、条、約、面、を、對、し  
 御、申、懐、り、候、無、之、存、小、正、日、が、政府  
 東京府  
 及、上、外、國、政府、に、勤、仕、之、外、國、人、に、後、年  
 築、地、居、留、地、内、に、移、住、之、被、之、旨、東、京、府  
 上、り、以、市、達、者、に、以、り、抄、者、も、回、極、移、轉  
 之、被、之、旨、傳、之、り、以、れ、抄、者、に、以、達、之、旨、に、  
 移、轉、の、旨、を、兼、且、且、呈、下、之、旨、以、知、  
 者、に、官、發、の、旨、を、最、先、東、京、府、お、い、て、以、市、  
 場、に、以、被、以、外、務、省、に、抄、者、在、留、地、  
 外、信、居、之、許、可、有、之、旨、を、今、報、之、以、東、  
 京、府、に、若、即、今、居、留、地、内、に、移、住、之、旨、  
 お、い、て、以、外、務、省、に、以、申、上、之、旨、を、被、知、  
 之、旨、



杜若御書を蒙りて少部令之者に依り  
報じし由に申すに書却り申すに申す  
立申すに申すに申すに申すに申す  
の申すに申すに申すに申すに申す  
此の申すに申す

千八百三十九年九月廿日 一、八、口、レ、イ、口

東京府知事

大久保一利

東京府

昨明治五年二月中大火災之節居留地内於下貴下之  
 居宅類焼後一時山天境院相對御借受相成候處  
 其後壹箇年同可借受度旨東京府へ御申出相成  
 候得共右不都合之次第有之候ニ付居留地内へ御引  
 移相成候様同府ヨリ再々申進候得共至御回答典  
 之遅々遷延及候ヨリ當九月中猶又居留地外御住  
 居之儀規則ニ相悖リ甚不都合之旨申進候處九  
 月九日附貴翰ヲ以テ同府へ縷々御辨解之趣同府  
 ヲリ申出候右一件ニ度々同府ヨリ申進候通り第一  
 規則ニ相悖リ外々ノ差響ニ相成甚不都合之次  
 第且貴下居留地外御住居之儀ハ大火災ニ付一時立退  
 ノ為ニ日數三十日ヲ限り居留地外へ移住差許候儀  
 ニ有之止諸省使察等雇入外國人或ハ使館附士官  
 等之居留地外ニ住居致居候以例ニ難相成候將又  
 同府へ御回答之貴翰ニ書有之旨下ノ居留地外御  
 住居許可致候趣御記載有之候得共右件等

此ノ旨  
 御答







改訂之案を以て東洋館より送付し又通商地内  
予取移任二の事あり及總領事館  
明治二年十月の事 駐在館長  
葡國領事

イロ一ノ口

貴下

外務省













補

西事  
たる  
考法局  
主考

外車左局

蓋印

前記の如く... 別紙甲号... 函及び... 本局... 又た

大系... 普出仕

普... 出仕

一... 一...

普... 出仕

外務省

此中... 大系... 普出仕... 普... 出仕... 大系... 普出仕... 普... 出仕... 大系... 普出仕... 普... 出仕...

コレ... 限... 所... 公使館... 且... 考... 双方... 住居... 外... 不...





一、  
何年  
書

十

又

何

り

其

世

何

外務省

一

市

政

又

何

面

一

且

限

条



諾

奉命出使  
二 德皇陛下御前  
呈遞  
一 呈遞

外務省

外務省

左記

乙卯二月十四日

東京府知事大塚喜三郎 外務大臣

東京府及び松浦県在る苗圃方面由松浦支庁ニシテ  
 氏之般目所在苗圃之事ニ係リ既ニ別ニ決シ道同  
 公使ノ轉知ノ旨以テ及リ通達ノ状ニテ呈シ裁  
 合方ニハ日氏苗圃地外係存ニ候旨先般裁合  
 種ノ解除被リ得テ到本日氏ノ言ニ依リ  
 再般解除ノ旨及裁合積ニテ今般日氏總領事  
 ニ任付ル旨及通知ノ通リ各國条約書ニ

外務省

カプロチツクエザントキコニニルガ子ラルハ日本 諸部裁合  
 障也ノ施行ノ由也

カ明大カカノノ場有リコトノ公使日氏ノ裁合有  
 候イカク之強名苗圃地内ニ驅入レバ決シ裁合外  
 苗圃裁合等ノ候ハル旨目下天山院院在ニ候旨  
 其旨ノ旨差至キ裁合等ノ旨及裁合外ノ旨及裁合  
 及及裁合也

六年三月十四日

要領記

キリノ四ノ五

川上

寫濟





要領記

支第百五十二号

寫濟

海

葡國總領事ロレイ口儀小山天曉院  
居住之故其月廿六年十二月中再通相  
置其後亦有之其後以括諭云云  
右之条約書中「デプロマニツクセニ下及  
コニニルゼ子ラール土地性素故障無  
之」等語以居留地區外に居住不苦故  
其先般八十五号に布告之に極意  
其之先般八十五号に布告之に極意  
以確答に下り括致し度此後於又

明治七年十月廿五日

東京府

相詞也

明治七年十月廿五日 東京府知事大久保一翁

外務卿寺島宗則殿

十月廿四日

大正二十五年十月廿四日

務本局

福

韓濟

類輯濟

取決

符

十月廿四日 外務省 事務本局 十月廿四日 大正二十五年十月廿四日

十月廿四日

十月廿四日 大正二十五年十月廿四日









寫濟

葡國總領事口口口俄公使在留多  
二月公使館事務在板中府下三田小山  
天曉院寓居之東京府馬國谷  
成自由因府別紙之通申出方  
就口口口口俄公使事務在板中  
居留地外住居不苦之万總領事身勤  
後之之時之居留地内引拂之條  
申後然之者天曉院寓居之條  
相對借家之并年第八十五号也布

内務省

告照之條約不結之起難也申之回府  
申立之如賃借之條約秘密不結不申  
之他日外論可相生也命者之付  
若公布踐行及移及別紙之通同就  
之及移令之海之於以者以之受之  
以段移及也也

内務卿大久保利通  
外務卿青島宗則

大久保  
青島

支第百五十七號

葡國領事寓所之儀伺

葡國領事ロレイ口儀元領事之節  
去明治五壬申年二月中之六日葡領地  
居留地區内相對借家之場所燒失後し  
該節致類燒失有外高谷田三十日限  
府下之伍寓所容納し三田小山天暖院  
日五退居安其後期限相立有之  
本申在間屆期入方催促し未其限外務  
省之中立同省ヨリ督責方有之  
其夫般

寫濟

廻議用

内務省

依領事之特任所屬之條約書中一千七百二十  
ツクエセント並エニシユルセ子ラールと故障  
おく日本國內を旅行し得へし其の明文  
換り居留地區外に居住差支無之哉  
同省見込之趣に對し依然居住に在る本年  
八十五號の布告に對し其の中不都合に  
付猶又同省に及問合を要別紙之通回  
答有之公使致す務取扱中、有居留  
地區外居住不苦トノ趣意に依上を別紙  
公使致し見做す事而も過漏し七者、

然ル上七他之史官乃以雇入之外客と一  
列之不相成儀之旨依令相對借家之由是八十  
五号の布告并の内達より趣意を踐行不  
相成儀と存在并外に使館員相相心解  
可申上存在一應此段相相心也

明治七年十月六日 東京府知事大久保 勲

内務卿伊藤博文殿代理

内務大臣林友幸殿

廻議用

内務省

寫濟

別紙

東京府へ以指令抄

書面葡國駐領事ノ口下口儀公使  
 在為無シ付公使履多務五抄中  
 形為抄下任其多許之者七なる務五  
 抄中ハ公使領日移一候月八十五日  
 公印改行ニ至奉云々申立ニ在由五令  
 公使タリ此在為公使領一候月八日  
 日幕ニ権理ヲ取リニ係ニ付公使領  
 承然申一ハ他公使領ニ至五難計  
 三月日号公印号ニ係ニ係領可ノ多務  
 五抄

廻議用

内務省

内務卿